

# 日英 ユースラジオプロジェクト in石巻 7/29(月)~7/31(水)

～イギリス&石巻&市川で活躍するユースラジオの若者たちがつながり、交流しました！～

このプロジェクトは、英国リーズ市でユースラジオに関わる若者たちと、日本の若者たち、東日本大震災で被災した若者たちとこれまでの経験を分かち合い、社会に発信したいことをラジオドラマとして作成し、それぞれのユースラジオ局から発信しようというものです。市川からはエフエムラジオを担当している西東摩利花さん（高3）、土佐徳寿さん（高1）が参加し、ラジオドラマ作りに挑戦してきました。（高校生2人と、青年、理事長の4人が参加）



今回来日した若者たち8人は、Heads Together というNPOで、アートを中心に様々な創造活動をしている10代の高校生たち。この団体が大事にしていることは、①コミュニケーション②アイデンティティ③全ての人が参画すること

これって、市川子ども文化ステーションと一緒にだね(^)

私は石巻でイギリスの人たちと交流して、国境を超えることの容易さを知りました。確かに言語や文化の違いは大変でしたが、伝えようと思えば何とか通じました。でもあまり交流できなかった面もあるので、そこは少し後悔しています。交流中に「前に進むしかないんだよ」と、被災した高校生が呟いていました。とても印象に残りました。地元の方と協力して復興していく姿に、自分も励まされました。

色々な場所に友達ができとても嬉しいです。今度はぜひ劇場にも遊びに来て欲しいです。

（高3女子）



今回、通訳として大活躍だったあおきん。最終日の発表ステージでは、逐次通訳もしました！！

最初はどうなる事かと思いましたが無事にドラマも完成し、何より本当に良かったです。いい経験をさせてもらいました。自分には無いまた別の世界で生きる人々との交流は、とてもいい刺激でした。大地震を目の前で見た衝撃の程は僕にはわかりませんが、皆その事実を最大限受け取ろうとし、伝えようともしました。

この3日間を本気で取り組めたと同時に若い世代として色々な事を伝えて行きたいと思います。

このような企画がまたあればぜひ出たいと思います。楽しかったーありがとうございました。

（高1男子）



ワークショップ会場となったコープの建物。ここは、上部の線のところまで津波が来ました。このあたりは、今でも1階は使えない建物がいっぱいあります。

スタッフとしてこの企画に関わる機会が与えられて感謝しています。久々に通訳することになり脳がぱんぱんな時もあったけど…！ 発表を聴いて、イギリスのみんなに震災のこと、日本のみんなの思いが伝わったと感じました。それを2カ国語で音楽、詩、ドラマにするという発想が私には新鮮でした。あおきん自身も震災についての学びや気持ちの移り変わりなどを見たり聞いたりできて良かったです。そしてそのつなぎ役になれて嬉しかったです！それにしてもイギリス人達のアイデアに脱帽です。(青年女性)

とっても濃〜い3日間でしたね。初めての場所で、初めての人たちと出会い、3日間を共に過ごして…。言葉も文化も違うけど、音楽やワークショップで仲良くなることができました。一晩で作曲してしまうイギリスの若者たちの感性のすごさや、被災地の高校生たちが前を向いて行動している姿に出会うことができ、自分たちのことについても考える機会となりました。このプロジェクトを支えてくださった皆さん、本当にお世話になりました。(理事長)

## 日英若者交流コンサート in 東漸寺(松戸市小金)

7/27(土)



このコンサートは、石巻でのラジオドラマ制作に

先立って行われたものですが、僕もなんと！演奏して参りました。

出演したのは、松戸の高校生のバンド2組と、来日した英国のティーン達。

松戸の高校生達はパワフルでエネルギッシュな演奏で、英国のティーン達は飾らない遊び心のあるキャッチーなステージング。英国のティーン達はメンバーが楽器を入れ替わり立ち代わり…本当に音楽が好きなんだなあってのが伝わってきます。

そしてとうとう僕の出番。その場にあったパソコンを使ってスピーカーを通してバックトラックを流し、それに合わせてギターを弾きました。完全アドリブで。実は、演奏する事が完全に決まったのは当日の事だったんです！(笑)その後は、僕の演奏と中央高校生の盛り上げ&熱唱のもと、お馴染みの十二月で会場全体を巻き込む事に成功！！いやー、楽しかった！

その後の交流会では、英国のティーン達と楽器でセッションしてました。僕が弾いた英国の有名バンドの曲に食いついてくれたり。改めて、音楽は国境を越えますね。

とても素晴らしい時間をありがとう！

(青年男性)